

1. 成果名 簡易空気膜及び中空多層構造フィルム利用による石油燃料削減効果

2. 成果の内容

天井部内張りカーテンを、厚さ0.05mmのP0フィルムを二つ折りにし溶着、その内部にブロワにて空気を送り込み簡易空気膜とし、側面に中空多層構造フィルム（エコポカプチ）を利用し施設内部全体を、高保温性資材で覆った場合、天井部を不織布（ラブシート）、側面を塩化ビニールで覆った場合に比べ28%の節油効果が認められた。

高保温性資材を効率的に使用する為には、被覆面積を広くし熱貫流率の高い部分を少なくする事で燃料削減効果は高くなる。

3. 具体的データ

表1 空気膜の節油効果比較(期間平均)

処理区分	調査期間	加温機の稼動 時間・a (分)	暖房デグリア ワー・b (°C・hr/日)	a/b	石油燃料削減率 (%)
空気膜 エコポカ	1月21日 ～ 2月9日	127.3	111.2	1.1449	28%
ラブシート 塩加ビニール	1月5日 ～ 1月18日	199.1	125.5	1.5865	—

1)加温設定 17:00～19:00・14°C 19:00～5:30・12°C 5:30～7:30 14°C

2)暖房デグリアワー算出時間帯:17:00～8:00

3)ラブシート・塩加ビニールの燃料使用量と比較した場合の石油燃料削減率

連絡先：愛知経済連営農支援センター

中神康晴

TEL：0532-23-3411 FAX：0532-23-3410